

専用アプリ Level Hub

Bluetooth 対応デジタル水準器測定器 用

対応 OS macOS／Windows／iOS／iPadOS／Android

対応端末 PC／タブレット／モバイル

使用権限 Bluetooth のみ（位置情報は使用しません）

！ 測定値の確認・操作には本アプリが必要です。測定範囲・分解能・精度は測定器ごとに異なります。お使いの測定器の取扱説明書で確認してください。

01 接続する

- 1 端末の Bluetooth をオンにし、本アプリに権限を許可します。
- 2 アプリを起動します。起動すると **人 接続** 画面が開き、自動で周辺の測定器を検索します。画面を切り替えるナビゲーションは、PC では画面左、モバイルでは画面下にあります。
- 3 測定器を**起動し、接続待ちにします**（「LVL-H01 取扱説明書」04 章）。
- 4 「未登録デバイス」に表示されたら **接続** を押します。通信環境によっては、完了までに最長 約 30 秒かかることがあります。
- 5 接続が完了すると測定器の LED が消灯します。

接続画面は「未登録デバイス」「接続デバイス」「管理デバイス」の 3 つに分かれています。はじめて接続する測定器は「未登録デバイス」に表示されます。

接続のたびに端末側で「ペアリング」の確認が出ることがあります。表示されたら許可してください。端末や OS により毎回表示される場合と表示されない場合があります、どちらも異常ではありません。

はじめて接続した測定器は、工場で調整した基準データ（工場校正データ）をインターネット経由で自動で取得します（約 5 秒）。このデータを取得していない状態では**測定精度は保証されません**。

02 校正する

はじめる前に

- | | |
|-----|---|
| 目的 | 同じ設置面で、基準の向きと 180° 回した向きの 2 回測り、センサーのゼロ点のずれを取り除きます。 校正をしていない状態では測定精度は保証されません 。 |
| 対象 | 接続済みで、工場校正データを取得済みの測定器。未接続の測定器は選べません。 |
| 設置面 | 平らで安定した面。設置面の傾きは 2 回の測定値から分離されるため、測定範囲内の傾きであれば水平でなくてもかまいません。 |

- | | |
|------|---|
| 環境 | 温度が安定した、振動のない場所。測定器と設置場所の温度差が大きいときは、置いてから温度がなじむまで待ちます。 |
| 所要時間 | 1 台あたり 約 70 秒（安定化 約 5 秒＋測定 約 30 秒 を 2 回）。複数台を同時に校正できます。通信環境や端末により前後します。 |
| 有効時間 | 校正後 1 時間。50 分で要校正の通知が出て、1 時間で測定器の電源が切れます。 |

手順

- 1 ナビゲーションから **校正** を選びます。
- 2 **校正するデバイスを選びます**。複数のデバイスをまとめて選べます。次へ進むと、操作ガイドの画面に切り替わります。
- 3 **1 回目：基準の向きで測ります**。測定器を設置面に置き、手を離します。「準備完了」の表示になったら **開始** を押し、約 30 秒そのまま待ちます。



図 1 | 1 回目：基準の向き

- 4 **2 回目：180° 回して測ります**。同じ面の上で、測定器を水平に 180° 回します。置き直したら **開始** を押し、同じく約 30 秒待ちます。

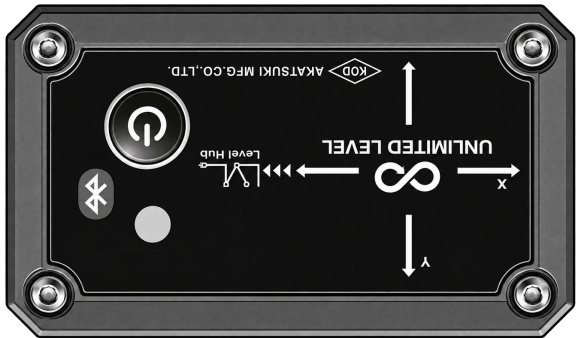


図 2 | 2 回目：180° 回した向き

- 5 校正の計算と適用が自動で行われ、結果が表示されます。

注意 測定中は測定器に触れないでください。1 回目と 2 回目のあいだで設置面の傾きが変わると、正しく校正できません。同じ面の上で回してください。

校正後 1 時間を過ぎたら、測定器の電源を入れ直して再度校正してください（「LVL-H01 取扱説明書」04 章）。

03 測定する

校正が終わったら、ナビゲーションから **測定** を選びます。接続中のデバイスの角度が表示され、値は自動で更新されます。

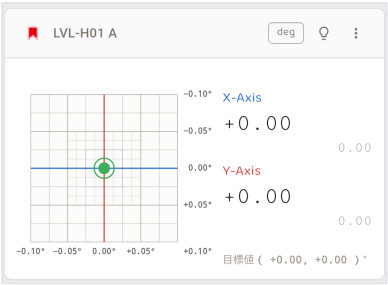


図 3 | 測定画面（カード表示・2 軸のデバイス）

- | | |
|------------|-------------------------------|
| カード 1 枚 | デバイス 1 台。表示名と現在の角度、目標値が入ります。 |
| X 軸／Y 軸 | 軸の向きは、お使いの測定器の取扱説明書をご確認ください。 |
| OVER RANGE | 測定範囲を超えています。設置面の傾きを小さくしてください。 |
| グレー表示 | デバイスの接続が切れています。 |

台数が多いときはリスト表示に切り替えられます。表示単位や表示形式の変更、目標値の設定もできます（04 章）。

04 主要機能

ここでは各機能の目的と概要を説明します。操作手順は使い方ガイドに掲載しています（05 章）。

目標値

基準としたい傾きを設定します。設定した傾きからの誤差が表示されます。オルタネートゼロ（ALTO）をオンにすると、その傾きを 0 として表示されます。

許容範囲

目標値に対する許容範囲を設定します。目標値からのずれが許容範囲内かどうかが判定されます。

表示単位と桁数

度（°）／％／mm/m から、デバイスごとに単位と桁数を選べます。桁数は分解能を基準に選びます（mm/m のみ +1 桁）。

カード表示とリスト表示

測定画面の表示形式を切り替えます。カード表示では、傾きが目盛り上の点と数値でリアルタイムに表示されます。リスト表示では、数値だけが一覧で表示されます。動きのある表示が不要ときや、複数台の数値をまとめて見たいときに使います。

登録と表示名

デバイスを登録し、表示名（最大 25 文字）を付けられます。登録すると工場校正データが端末に保存されるため、インターネットに接続できないときもそのまま測定できます。データは接続のたびに更新が確認されます。

自動接続

登録したデバイスごとにオン／オフを設定します。オンにすると、接続待ちのデバイスが見つかったときに自動で接続されます。有効なデバイスは稲妻アイコンで示されます。

LED 識別

アプリからデバイスの LED を点灯・消灯できます。手元のどれがそのデバイスかを確認めたいときに使います。

カラーラベル

本体カバーの色に合わせて、アプリ上のデバイスに色のブックマークを付けられます。色は 8 色（黒／白／赤／紺／黄色／緑／青／紫）と「未選択」から選べます。

複数台の同時接続

プラットフォーム	同時接続台数
macOS／iOS／iPadOS	8 台
Windows	8 台（Bluetooth 5.3 以上が必要）
Android	8 台（一部の端末は 4 台）

注意 接続できる台数と動作は、通信環境および端末性能により前後します。Windows で内蔵の Bluetooth が 5.3 未満の場合は、Bluetooth 5.3 以上に対応した USB Bluetooth アダプターを使うことでご利用いただける場合があります。

アプリ設定

テーマ（ライト／ダーク／ハイコントラスト）、表示形式、表示単位の既定値を設定します。デバイスごとの個別設定があるときは、そちらが優先されます。

05 詳しい使い方

各機能の操作手順、および画面に表示されるアイコンや状態表示の意味は、下記の使い方ガイドに掲載しています。



使い方

<https://www.lvl-hub.net/guide>

操作手順、アイコン・状態表示の意味、動作環境

アプリは更新により画面や機能が変更ことがあります。最新の情報はガイドを参照してください。

発売元

株式会社アカツキ製作所

〒623-0051
京都府綾部市井倉新町石風呂53
TEL 0773-42-1001／FAX 0773-42-2043
MAIL info@kod-level.co.jp